

# 地域新聞

新松戸版

新年特別号  
 Vol.327



1/8

今日は何の日?

## ■平成スタートの日

1989(昭和64)年1月7日朝の昭和天皇崩御を受け、同日午後の臨時閣議で次の元号を「平成」に決定。翌8日から新しい元号がスタートしました。「平成」の由来は『史記』五帝本紀の「内平外成(内平かに外成る)」、「書経」大禹謨の「地平天成(地平かに天成る)」からで、内外・天地とも平和が達成されるという意味。今年が平成22年。早いものですね。

## 住まいのミニミニ お助け隊奮戦中

住まいのミニミニお助け隊(中山望リーダー)が松戸市で活躍中だ。現役を退いた中高年が得意技を生かし、庭木の枝切りなどの要望に応じてきた。今年も高齢者や独居老人の応援団として大張り切り。



植木の手入れの安居さん



キウイの棚を手入れする中山さん

NPO法人人材パワーアップセンター(岩橋秀高理事長)内のグループで、中山さんが六年前に立ち上げた。仲間は今十人になり、一〜四人に分かれて活動し

ている。高齢者や障がい者のいる住宅の簡単な改修・改善のほか障子の張り替え、照明器具の交換、庭木の手入れなどの注文を低料金で請け負う。年間の実績が七十件を上回り、生活弱者が安全に安心して暮らせるような支援を続けている。

グループの隊員は、ほとんどサラリーマンを定年した後に加わってきた。「二十代から盆栽をいじっていた。庭木は任せて」という安居新五郎さんのように、

全員が得意技を生かしている。大工職だった保坂功さん・寺田三郎さんは現役引退後の仲間入り。「専門家の目」として頼りになる。「庭の手入れを八十二歳のおばあさんに依頼された」というので、小春日和の午後、仕事先宅におじゃました。中山さんはキウイの棚を整理し、安居さんが玄関前の松の手入れ。「こ

こへは三年前から来ています。玄関の踏み台を作り、物干しさおの取り付けや洗濯機の排水ホースの修理も

「退職後、「一人では何もできない」ことに中山さんは気付いた。市内にある同センターに加わり、アドバイスを受けて見事に地域デビューを果たした。ただ、チラシの印刷代、通信費などが必要なことも指導され、ボランティアではなく、一人三十分当たり四百円の料金設定にした。

※問い合わせ

☎047(362)1358

☎047(342)2562

中山

永井



仕事ぶりを見守るお年寄り

た後に加わってきた。「二十代から盆栽をいじっていた。庭木は任せて」という安居新五郎さんのように、

玄関前の松の手入れ。「ここへは三年前から来ています。玄関の踏み台を作り、物干しさおの取り付けや洗濯機の排水ホースの修理も